

令和 2 年 6 月 18 日

地区委員長 各位  
地区コミッショナー 各位  
団委員長 各位

ボーイスカウト奈良県連盟  
理事長 吉田 甚造  
コミッショナー 佐藤 之雄

## スカウト活動の再開について（その 3）

～ 新型コロナウイルス感染への対応（第 9 報）編 ～

日本連盟から「新型コロナウイルス感染への対応（第 9 報）」が 6 月 4 日に出されました。その為 5 月 29 日に県連盟として皆さんに宛ててお出しした「スカウト活動の再開について（その 2）」との間に不整合な部分が見受けられ、県内地区及び各団の皆様には戸惑いをおかけしているようです。結論から申し上げます、奈良県連盟の加盟団の皆様は（その 2）に準じて活動を行っていただければいいのではないかと思います。以下に（その 2）で示しました項目部分と、（その 2）発表から今日までの間で新たに知見いたしました部分等を赤字にて追記してお知らせいたします。

### 1. 県外への活動は 6 月 19 日から！

奈良県の「新型コロナウイルス感染症にかかる奈良県対処方針（5.22 方針）」及び政府の発表を考慮し、県外においてのスカウト活動は、その活動再開を 6 月 19 日からとします。

（その 2）で掲げた通りで変更はありません。

### 2. キャンプの実施は 7 月 1 日から！

隊や班のキャンプは 6 月末まで自粛してください。そのうえで、出来得る訓練を再開し、実際のキャンプに向けた準備を行っていきましょう。BS 隊ならば班長会議・班集会の絶好の議題となります。4 月上進の隊の場合、新しい班でのキックオフとなりますね。隊指導者が関わる大きなチャンスです。また、団委員の皆様にとっても、夏季キャンプの場所を再検討する期間となります。保護者の意向等も考慮し、短時間で事業を決定していかねばなりません。団委員会の早期開催をお願いします。

県の野外活動センターも利用の受け入れを行っている状況で、これ以上の自粛は適切さに欠けていると思えます。（その 2）で申しあげた通り、団・隊・班等の参加者が確定している中でのキャンプであるならば可能であると判断します。団は十分な訓練を行ってから夏季キャンプを実施してください。また、日本連盟的に「3 密」の標的となっていますので、スカウトの状況を十分に掌握し、感染のリスクをできるだけ少なくしてキャンプに誘いましょう。夏季キャンプ等を県外施設にて計画されている場合は、その施設の立地する県連盟の対応状況によって多少の調整が必要となる場合があります。お近くのコミッショナーにご相談ください。

### 3. 募集イベント等は慎重に行ってください。

参加される方の状態を把握することが困難な事業、特に新たな隊員の募集イベントなどは、感染予防の対策をしっかり行い、地域が持つ雰囲気や考慮に入れ慎重に実施してください。あらぬ誤解を招いたり、参加者に礼を欠く事態となっては元も子もありません。適度な対応を心がけてください。

非加盟員が対象となりますので、「新しい生活様式」等の対応策や、不特定な人々を扱う業種（お店やイベント事）などの対応例を参考にしましょう。ただし、青少年を取り扱うという点でも、行き過ぎた予防策は、イメージを損なう原因ともなりますので、対策は注意深く行なってください。

### 4. 県連大会・地区大会・キャンプ等スカウトの大会は自粛してください。

新たな感染拡大（第二波）を未然に防止する為にも、規模が大きく、主催者が細部までスカウトの健康状態を把握できない事業については本年度中止とします。

（その2）で掲げた通りで変更はありません。スカウトが対象となるものに限定しています。また、自粛期間は状況により変えることがあります。9月に一旦見直しを図りたいと思っています。

### 5. 公共交通機関は慎重に利用してください。

スカウト活動を行う上で、公共交通機関の利用は、安全管理の側面からも致し方無いものと考えます。使う場合と使わない場合のリスクをしっかりと比較し、スカウトの安全を最優先に計画を進めましょう。どうしても公共交通機関を利用する場合は、感染予防の措置をしっかり取り、保護者の了解を得たうえで、慎重に利用することが求められます。

（その2）で掲げた通りで変更はありません。

### 6. 感染につながる可能性の高い行動は避けてください。（再度掲載）

いわゆる「3つの密」だけでなく、街頭募金などの不特定な方々と接触（会話など）を持つようなプログラムや、著しく体力を消耗するようなハードな活動、尺の長い活動など感染のリスクが高まるような活動は当面控えてください。（現在お願している緑の募金などへの対応策は、地区コミッショナーにご相談ください）

（その2）で掲げた通りで変更はありません。当面とは、具体的な期日を設けておりませんが、感染の国内（県内）状況をよく見て月次に対応したいと思います。

### 7. 奈良県内の地域の状況（特に学校の再開状況）を考慮してください。

前回にも申しました通り、活動の再開は、団独自の判断に拠るのではなく、お住いの自治体の状況や、学校の状況を考慮して慎重に行ってください。小・中学校が再開されましたが、その運用は市町村によってばらつきがあります。個々のスカウトの保護者と連絡を取り合い、ストレスの少ない活動を展開していきましょう。

（その2）で掲げた通りで変更はありません。奈良県ではすべての公立学校が通常の体制に移行してきています。しかしながら、今回のコロナ禍の影響で夏休みが大幅に削られる学校も多いと聞いています。保護者と話し合いの機会をいつも以上にもち、スカウトが活動する時間を確保できるように努めましょう。

## 8. スカウトの進級についてはコミッショナーに相談してください。

今回のコロナ禍の影響で、数か月にわたり活動を取りやめた為、スカウト個人の進級計画に大きな影響が出ていることは否めません。特に BS・VS 部門において期日が関係する進級課目などは今後活動が再開されたとしても時間的にフォロー出来ないものもあります。そこで奈良県連盟では、日本連盟からの情報とともにスカウトの進級についての考え方をまとめ、地区コミッショナー間で共有を図ります（検討実施中）。進級に関してはお近くのコミッショナーにご相談ください。

日本連盟から富士スカウトに関して特例の処置が出ています。その他の進級に係る事項については、県連盟に委ねられていますので、現在県連盟において検討中です。細かい部分はお近くのコミッショナーにご相談ください。

日本連盟特別措置 [https://www.scout.or.jp/member/covid19\\_scout\\_advancement/](https://www.scout.or.jp/member/covid19_scout_advancement/)

終わりの文章も（その2）で掲げた通りで変更はありません。再掲載いたします。

隊指導者をはじめ、団の指導者の皆さんは、スカウト及びスカウトの家庭としっかりコミュニケーションをとり、適度な対応を心がけてください。行過ぎた行動や、あまりにも無関心な行動は、この運動の信頼を損ねることになります。そのうえで、活動再開を心待ちにしているスカウト達へわくわく・ドキドキを一刻も早く伝えていきましょう。そして新たなステージの中でスカウト運動を大きく飛躍させて行きましょう。皆さんの活躍を期待します。

～ 何故奈良県連盟ではスカウトキャンプを再開することが妥当だと考えるのか？ ～

### スカウトは歌舞伎町のホストではない・・・

我々のスカウトはすべて加盟員であり、隊リーダーはスカウト全員を知り、その保護者とも深く連絡を取りあい、双方の状況を把握しているものと考えます。つまり、スカウトの保護者は、我が子をスカウト活動に参加させる場合、その健康状態を担保し、リーダーはスカウトを受け入れる際に自らの健康状態を担保できていると確信しています。また、奈良県内の多くのスカウト隊は小規模であり、スカウトの実数もさほど多くないことから、スカウトキャンプ実施時の感染リスクは限りなく低いと考えます。もちろんまったく無いとは言いませんが、テントでスカウト同士寝る行為は、家庭で家族と寝る事に限りなく近いものだと我々は考えるのです。ですから不特定多数の人と接触をする事がお仕事の方と、スカウトは同じではないはず。そういった事から、現在の国内・県内状況を併せ見たうえで、県連盟として今、スカウトキャンプを再開することが妥当であると判断しています。

もちろん再開に当たっては、今まで以上に保護者とのコミュニケーションをとり、出来る限りの予防措置をとる必要はあります。団や隊の規模に応じた対応が必要であるので、すべての団に手放しでスカウトキャンプ再開を求めているわけでもありません。また、募集イベントや新規入団者の取り扱いは慎重に慎重を重ねて実施する必要があることは先に述べた通りです。スカウトキャンプとは一線を隔めますので、混同しないようにしてください。

最終的には、それぞれの団の判断にお任せするのですが、スカウトを教育する最大の組織は団です。今こそ団の組織をフルに活用し、安全にスカウトキャンプを再開しこの運動を活性化していきましょう。

日本連盟 第9報 <https://www.scout.or.jp/member/commissioner-coronavirus20200604/>